

平成 27 年度 道南技術士委員会総会 及び「新規合格者による技術発表会」

1. はじめに

道南技術士委員会で、北海道本部理事森隆広氏をお招きして、定例総会を行いました。また、総会に先立ち、平成 26 年度技術士 2 次試験に新規合格された 1 名の技術士の方が技術発表を行いました。

日時 平成 27 年 5 月 15 日(金) 16 時より

場所 ホテルリソル函館

参加 23 名

2. 新規合格者による技術発表会

技術発表：原田 雄一 氏(31 歳)

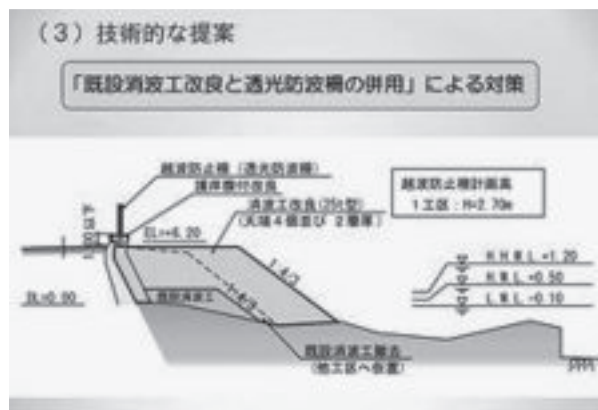
技術士：建設部門－河川、砂防及び海岸・海洋
株式会社 東鵬開発

「若手技術者の技術士二次試験合格までの道のり」
専門キーワード

波浪解析、越波防災、高潮対策、港湾、漁港施設、護岸、消波工、離岸堤、コンクリート構造物

概要：はじめに、①「日本海に面した道道での越波防止柵と消波ブロックを併用した越波対策工法の計画・設計および施工計画の立案」と題して、沿岸に襲来する高波浪環境下における道路防災(越波対策)をテーマに発表を行われました。

内容としては、北海道の日本海沿岸道路における道路防災(越波対策)を目的に護岸(海岸擁壁)改良を行うにあたり、A. 路線の防護基準を設定した上で、通行止め規制を併用した道路管理システムの立案を行った。B. 消波工と透光防波柵を併用することで、課題である越波防護を可能にすると同時に LCC の縮小化や、道路利用環境の向上を図ったことを事例に講演されました。



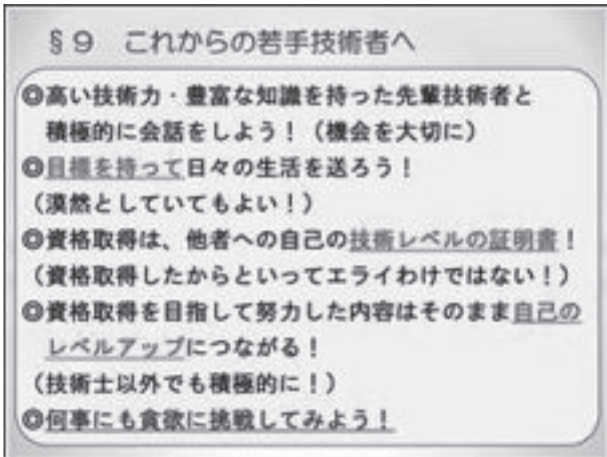
スライド：技術的な提案



講演 原田 雄一 技術士

また、②「技術士取得までの道のり」をテーマに資格取得のメリットなどをその時の心境をふまえたメッセージ形式で講演し、後輩技術者へエールを送られていました。更に、今後は指導者としての立場で行う若手技術者の育成方針を解説されました。

最後に、議事進行をつとめられた奈良哲男技術士のはからいで技術発表を受講した若手技術者(5 名)が、自己紹介と各自の目標について発言する機会を頂きました。



スライド：若手技術者へのメッセージ



技術発表を受講する道南の若手技術者

3. 総会

技術発表会に続いて、総会が行われました。

まず、北海道本部の森 隆広理事より、技術士会定時総会で話題となった内容について、最近の技術者をとりまく背景や、技術士に求められるニーズなどを説明された上で、本年の技術士会の事業計画などを解説されました。また、技術士試験の結果統計を基に、今年度の技術士二次試験実施日の変更についての経緯などを説明された上で、技術士会本会への入会を呼びかけられておりました。



北海道本部 森 隆広 理事

次に、道南技術士委員会代表の布村重樹技術士より、平成26年度年間活動が報告されました。

続いて、(会計)奈良哲男技術士より平成26年度会計報告と監査報告、平成27年度予算計画の内容が説明され、全会一致で承認されました。

最後に、道南技術士委員会の新幹事について委員会報告があり、新たに2名が幹事として受け入れられました。



道南技術士委員会 布村 重樹 代表

4. 懇親会

会場をホテル内の別室に移し、18時より懇親会が行われました。ここでは、各自1分という持ち時間で、近況や今年度の抱負などを発表する「ワン・ミニッツ・ストーミング」の場を設け、談笑を交えながら道南の技術士の熱意を聞くことができました。また、アルコールも加わり、各人の所属する組織の垣根を飛び越え、熱い技術論にも花が咲きました。



「ワン・ミニッツ・ストーミング」の様子

おわりに

この度、技術発表に出席できなかった1名を含んで、道南から新たに2名の技術士が誕生しました。

道南技術士委員会では、函館高専と産学連携して道南地域の技術者育成に注力しており、その成果が現れて毎年、技術士の数は増加しております。

今後も若いエネルギーが率先して、当会を盛り上げていき、相互研鑽による技術向上、ひいては道南技術士委員会が益々発展していくことを願います。